

板倉町PR大使 染宮弘和さん来庁

2月25日(火)、板倉町PR大使の染宮弘和さんが来庁されました。ナビゲーターとして、1月にサウジアラビアで開かれた世界一過酷なモータースポーツと言われるダカール・ラリー2025のトラック部門に出場し、13位になったことをご報告いただきました。



渡良瀬遊水地ヨシ焼き 春を告げる火入れ

3月1日(土)、渡良瀬遊水地でヨシ焼きが実施されました。多くの人が集まり、その様子をカメラに収めていました。ヨシ焼きは、ヨシに寄生する害虫の駆除、野火による周辺家屋への類焼防止、貴重な湿地環境の保全などを目的として実施しています。



板倉中学校卒業式 輝く未来に向かって

3月13日(木)、板倉中学校で卒業式が挙行されました。卒業生118人は担任から名前を呼ばれると大きな声で返事をし、校長先生から卒業証書が渡されました。

大きな夢を胸に、自分を信じてまっすぐ進んでいくことを願っています。



三県境フェア 二県が交わる特別な場所

3月1日(土)、道の駅かぞわたらせで三県境フェアが開催されました。板倉町のブースでは、キュウリやキャベツが販売され、大盛況で完売となりました。また、三県境ガイドも行われ、板倉町観光サポータークラブのかたの説明を聞きながら3歩で県境を巡っていました。



百寿者慶祝訪問事業 これからも健やかに

3月4日(火)、100歳になられた渡邊正枝さん(大字岩田)をお祝いするため、百寿者慶祝訪問が行われました。全て自分の歯で何でも食べているのが長生きの秘訣とのこと。先日は冬の音楽療法教室にも参加されました。これからも末永く健やかに過ごされることを願います。



第22回高校生技術・アイデアコンテスト 全国大会で最優秀賞を受賞

館林商工高校2年生で板倉町在住の小河原悠希さんと中山音和さんを含む10人のグループが自転車駆動による回転式脱穀機、千回こぎを製作し、第22回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会の課題研究部門で最優秀賞を受賞しました。この千回こぎは、小学生を対象とした食文化継承の教材として製作されました。小河原さんは「授業とは違う溶接が難しかった」、中山さんは「小学生の反応も良く、楽しかった」と話してくれました。

